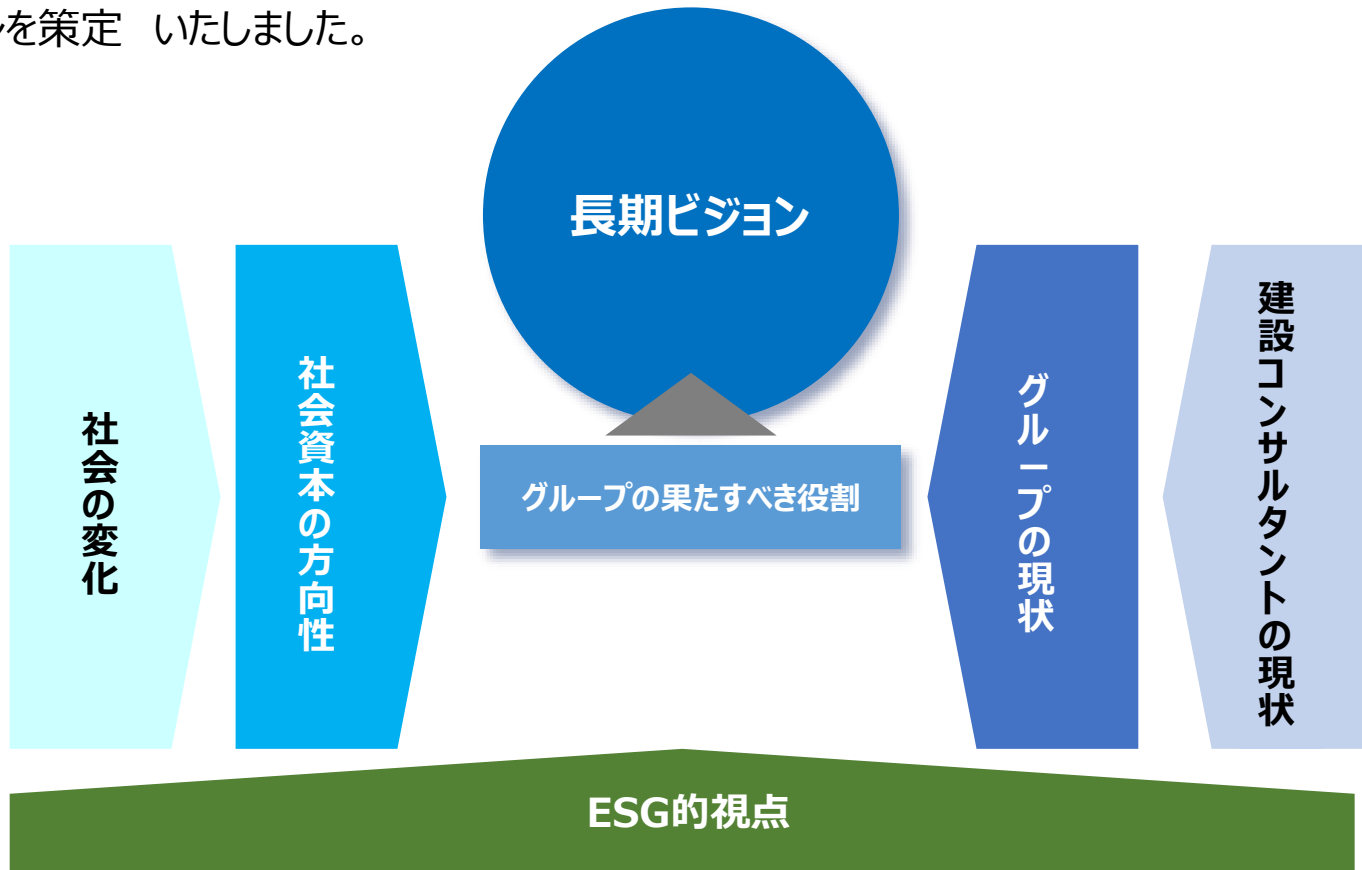


長期ビジョン E・J-Vision2030

策定プロセス

変化を加速する社会の中で、社会資本のあり方や質も変わり、その整備に携わる建設コンサルタントの役割・領域・分野も変化しながら拡張することが予想されます。また一方では、地球環境・社会の持続可能性が問われ、企業経営にとっては「**ESG的視点**」が重要となっています。

このような状況下、E・Jグループは、今後の経営・事業環境の変化を予想し、10年後の2030年においても、「**わが国第一級のインフラ・ソリューション・コンサルタントグループ**」として活躍し続けられるよう、長期ビジョンを策定いたしました。



グループの果たすべき役割

今後の社会課題

国内	社会経済	一極集中の是正 働き方改革の推進
	価値観 技術	人口減少・高齢化社会 共助社会の拡大
	資源・ 環境・ エネルギー	価値観の多様化 シェアリングエコノミーの進展
グローバル	社会経済	DXの推進 Society5.0
	価値観 技術	脱炭素化 再生可能エネルギー
	資源・ 環境・ エネルギー	異常気象・自然災害多発 インフラ老朽化
国内	社会経済	多極化する世界経済 ダイバーシティ加速
	価値観 技術	新興国の台頭 アフターコロナ
	資源・ 環境・ エネルギー	シェアリングによる循環型社会
グローバル	社会経済	Society5.0
	価値観 技術	食料・水資源・エネルギー問題
	資源・ 環境・ エネルギー	地球温暖化（気候変動） 生物多様性
国内	社会経済	脱炭素化 再生可能エネルギー
	価値観 技術	
	資源・ 環境・ エネルギー	

トレンド動向

ライフスタイルの変化

- ・アジア中心に世界経済が成長
- ・都市の過密化・スマートシティ
- ・所有からシェアリングへ
- ・アフターコロナ、ウィズコロナ対応

経済成長と資源循環の両立

- ・カーボンニュートラル
- ・ESG経営の推進
- ・低炭素・循環型社会形成
- ・グリーンインフラ

デジタル革命の進展

- ・AI、IoTによる生産改革
- ・ロボティック
- ・インターネット社会、
ブロックチェーン技術の進展

グローバル経営の進展

- ・グローバルな視点でローカルな課題も解決
- ・共助社会の構築
- ・ガバナンス強化

環境

防災・
保全

行政
支援

グループのコア・コンピタンスを融合

E・Jグループの役割

1

環境負荷軽減への貢献

- ・グリーン・インフラ対応
- ・カーボン・ニュートラル対応
- ・自然との共生対応 etc

2

持続可能でレジリエントな社会づくりへの貢献

- ・国土強靱化対応
- ・防災・減災対応 etc

3

地域の課題解決と活性化への貢献

- ・一極集中是正対応
- ・スーパーシティ対応 etc

長期ビジョン

E・J-Vision2030

(2021年度～2030年度)

「革新と進化を続け、安心・夢のあるサステナブルな社会の実現に貢献する」グループ

ESG経営を推進し、持続可能な社会発展に貢献すると同時に、グループの長期的成長を目指す

未来型社会インフラ創造グループ

課題解決から価値創造へ

3つの主要な役割を果たしながら
建設コンサルタント業に求められる新たなインフラ整備に応える

環境負荷軽減への貢献

持続可能でレジリエントな
社会づくりへの貢献

地域課題解決と
活性化への貢献

ESG経営

4つの基本方針

環境負荷軽減対応の強化

持続可能でレジリエントな
社会づくりへの貢献

ダイバーシティ経営の実践

最適な体制構築のための
ガバナンスの強化

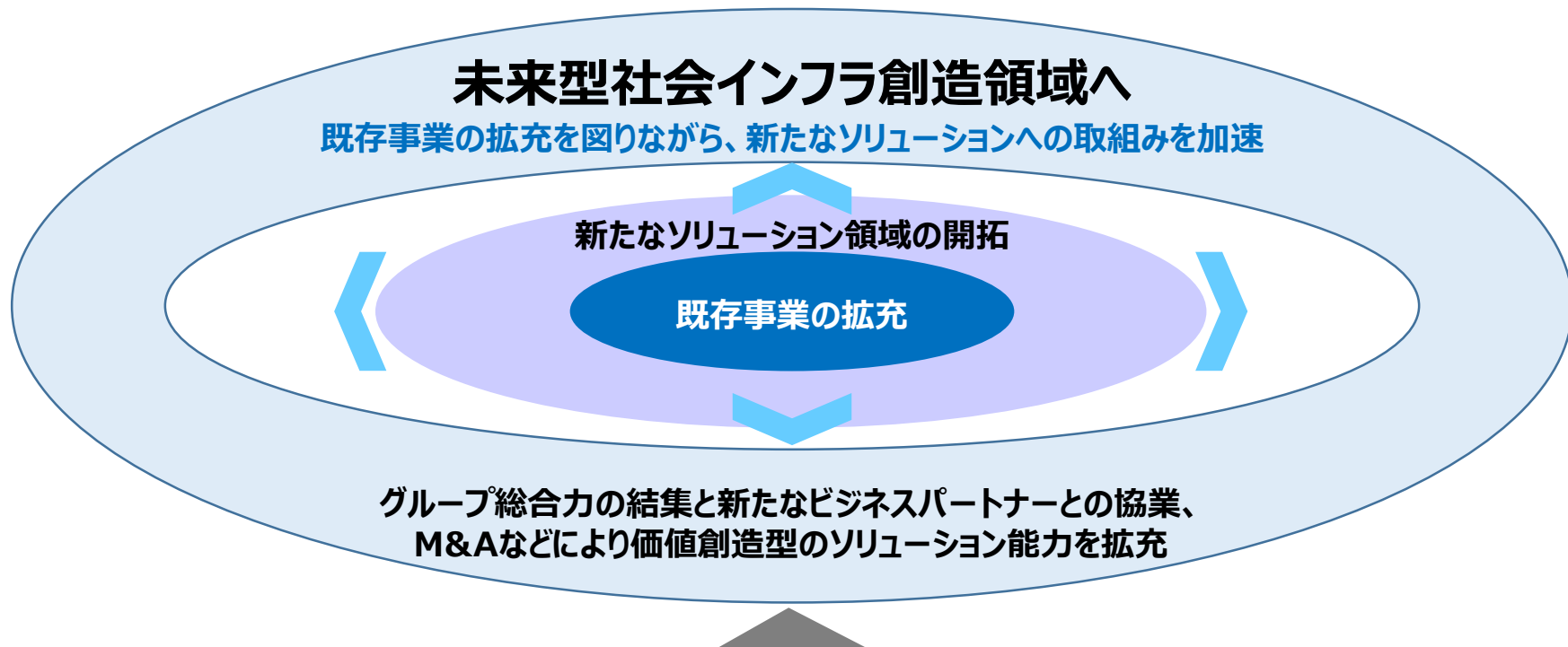
4つの基本方針の下、ESG経営の取り組みを強化

長期ビジョン基本方針

ESG経営の推進

(重要課題への対応とSDGsへの貢献)

<p>1. 環境負荷軽減対応の強化</p> <p>再生可能エネルギー等環境負荷軽減施策の普及を支援し、レジリエントな循環型社会の形成に貢献する</p>	<p>Environment (環境)</p>	<p>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p> <p>13 気候変動に 具体的な対策を</p>
<p>2. 持続可能でレジリエントな社会づくりへの貢献</p> <p>国内外の良質なインフラ整備や維持管理と地域の生活環境向上や活性化施策を通して、「安全・安心な社会づくり」に貢献する</p>	<p>Society (社会)</p>	<p>9 産業と技術革新の 基盤をつくろう</p> <p>11 住み続けられる まちづくりを</p>
<p>3. ダイバーシティ経営の実践</p> <p>多様な人財の開発・育成を積極的に行い、働きやすく、働きがいのある職場をつくる</p>		<p>4 質の高い教育を みんなに</p> <p>5 ジェンダー平等を 実現しよう</p> <p>8 働きがいも 経済成長も</p>
<p>4. 最適な体制構築のためのガバナンスの強化</p> <p>コンプライアンスやリスク管理を重視したガバナンス体制を整備し、経営の透明性を高め、ステークホルダーとの関係を強化する</p>	<p>Governance (企業統治)</p>	<p>12 つくる責任 つかう責任</p> <p>16 平和と公正を すべての人に</p> <p>17 パートナシップで 目標を達成しよう</p>



6つの新重点分野

需要構造の変化に合わせ
重点分野を再編

自然災害・リスク軽減

インフラメンテナンス

デジタルインフラソリューション

環境・エネルギー

都市・地域再生

公共マネジメント

コア・コンピタンス

差別化の源泉として
より一層の強化

防災・保全

環境

行政支援

6つの新重点分野

これまでの5つの重点分野から、社会資本等の方向性に合わせ、6つの新重点分野をメインに活動領域の拡大を図る

【各分野の概要】

自然災害・リスク軽減

国土強靱化対応、防災・減災対策、BCP等

インフラメンテナンス

インフラ施設長寿命化、インフラ施設点検・診断の高度化

デジタルインフラソリューション

BIM/CIM推進、調査・点検などへのロボット・AI活用、IOTを活用した高度災害情報システム等

環境・エネルギー

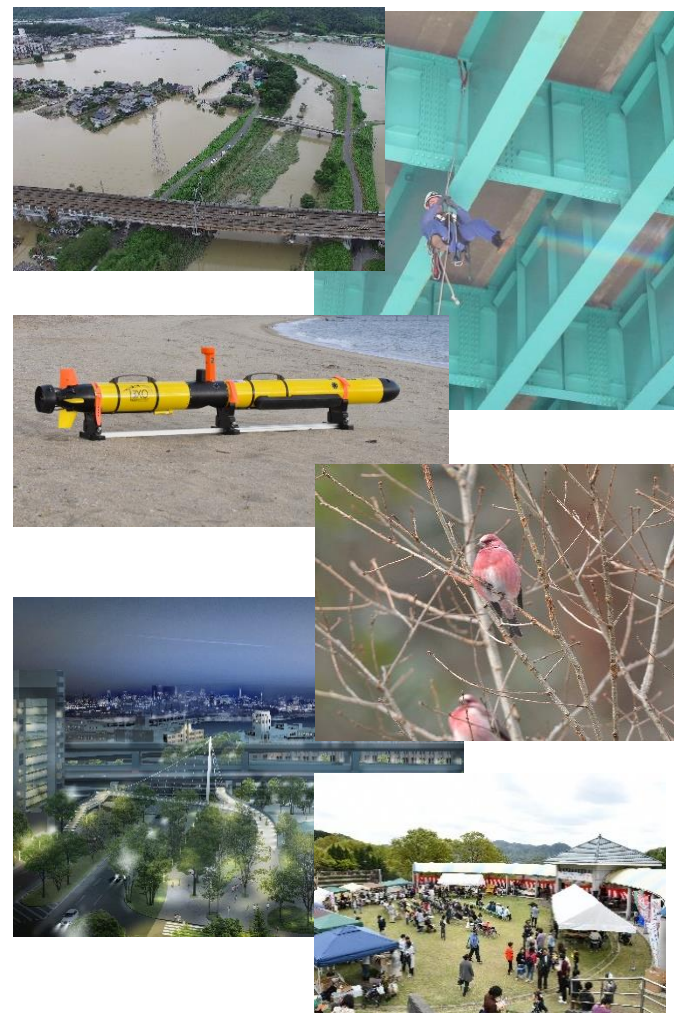
グリーンインフラ推進、資源循環（廃棄物処理・活用）、再生可能エネルギー等

都市・地域再生

スーパーシティ、スマートシティ、都市再生・地域活性化、まちのリニューアル等

公共マネジメント

CM/PM等発注者支援、PPP/PFI、インフラ施設管理等



2030年度目標値

売上高 500億円(内、海外50億円)

営業利益 60億円(利益率12%)

当期純利益 40億円(ROE10%以上)

E・J-Vision2030

ESG経営を推進し、持続可能な社会発展に
貢献すると同時にグループの長期成長を目指す

未来型社会インフラ創造グループ

第7次中期計画

2028～2030
《次世代創造》

第6次中期計画

2025～2027
《拡大・進化》

第5次中期計画

2021～2024
《基盤整備・強化》
・グループ総合力の結集
・多様化ニーズの対応
・環境変化の対応

STEP3

盤石な経営基盤構築

第4次中期計画

2017～2020
《E・Jグローバル
チャレンジ2020》

- ・主力分野の深化とブランド化
- ・新事業領域の創出
- ・グローバル展開の推進
- ・環境の変化に即応する
経営基盤整備の推進

STEP2

ブランド構築

第3次中期計画

2014～2016
《未来につながる
ブランドの構築》

- ・グループ連携の強化
- ・主要分野の強化及び弱点
領域(地域・技術)の強化
- ・人材力強化
- ・安定的な経営基盤の確率

STEP1

グループづくり

第1次中期計画 第2次中期計画

2007～2013

《E・Jグローバル
チャレンジの実現に
向けて》

- ・主力事業の強化
- ・営業基盤の安定化
- ・企業価値の極大化
- ・人材力強化
- ・戦略的事業の取組み強化

ESG経営の推進

グループ各社の役割と連携

